

ウッチーの  
校長室だより  
令和3年5月27日

# 春風接人



児童玄関のサツキの花が鮮やかに咲き、子ども達の登校を快く迎えてくれているようです。昨年の6月は、分散登校や教室内外の消毒など緊張しながらの学校再開だったので余裕もなくサツキの花に気づきませんでした。今年は本当にきれいに咲いています。授業参観や体育大会、引き渡し訓練などの学校行事等が順調に行うことができ、本当にうれしく思います。

体育大会での高学年による応援は、賑やかな音楽や振り付けで大会を大いに盛り上げてくれました。競技では、子ども達が一生懸命に頑張る姿や協力する姿、励まし合う姿をたくさん見ることができました。PTAの方々には準備や後始末でお力をお借りしたり、感染マナーを守って声援をさせていただいたりしました。コロナに負けずに、子ども達の活動が無事に成功できるようにと、たくさんの方の思いが伝わるような1日で、子ども達全員が、達成感を感じることができたと思います。ありがとうございました。

6月には、2年生の町探検・4年生の自転車教室や市内施設めぐり・5年生宿泊学習などが計画されており、感染対策には引き続き配慮しながら、地域の方々のご協力をいただいて充実した体験活動にしていきたいと思っています。



ところで、今年から保護者の高山さんのご協力を得て、5年生が学校近くの田んぼで稲作体験をさせてもらうことになりました。さっそく18日の5校時に、手作業での田植えをしました。古くなったズックにゴム手姿で、いざ田んぼへ。初めの一步、「うわっ。」「きゃー。」予想通りの反応でしたが、感触は実際に田んぼに入った者にしかわかりません。ズボッ、ズボッ、泥に足を取られながら苗を植えていました。子ども達が動くと、田んぼ特有の泥臭い匂いが辺りに漂ってきました。慎重に動いていた子ども達も、しばらくすると大胆に動き回るようになり、たくさんの苗を植えました。バランスを崩して転んだり、泥水が飛び散ったりして泥んこになりながらの体験でした。小さい年齢での泥遊びは情操教育には大変良いといわれています。小さい頃、泥団子や爆弾を作って遊んだ保護者の方もいるのではないのでしょうか？保育園では泥んこ遊びを取り入れているところもありますが、小学生になってからはすることがないので、今回の田植えは貴重な体験になったと思います。今後、農園見学や稲刈り体験などを通して、本物の体験はまだまだ続く予定です。



王子保小学校ホームページ <http://school.city.echizen.lg.jp/oshio/>